

主催 全国商業高等学校長協会・公益財団法人全国商業高等学校協会

後援 文部科学省・日本公認会計士協会・日本税理士会連合会

第27回 (平成23年度) 全国高等学校簿記コンクール問題 (第1部)

注 意 事 項

- (1) 答案は、すべて答案用紙に記入すること。なお、教科書に基づき日頃学校で指導を受けている記帳の方法によって、正確・迅速・整然と記帳すること。
- (2) 机上には、競技番号札・ボールペン（黒・赤）・電卓・そろばん・定規・タイマー以外おかないこと。
なお、物品の貸借はしないこと。
- (3) 赤記すべきところは、赤のボールペンを使用すること。
- (4) 答案作成にあたっては、鉛筆および消しゴムで消せるボールペンの使用は認めない。
- (5) 記帳したものを訂正する場合は、教科書に基づき日頃学校で指導を受けている方法によって訂正すること。
なお、訂正印は省略する。

1 (40点)

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現金	小口現金	当座預金	受取手形	売掛金
貸倒引当金	有価証券	建物	備品	備品減価償却累計額
のれん	子会社株式	減債用定期預金	買掛金	未払金
未払配当金	修繕引当金	保証債務	社債	長期借入金
資本金	資本準備金	利益準備金	減債積立金	別途積立金
繰越利益剰余金	売上	有価証券利息	有価証券売却益	社債償還益
固定資産売却益	広告料	修繕費	貸倒償却	減価償却費
交通費	消耗品費	雑費	有価証券売却損	保証債務費用
固定資産売却損	子会社株式評価損	天草支店	平戸支店	試用品
試用仮売上	割賦売掛金	割賦仮売上	損益	

- (1) 決算にあたり、銀行勘定調整表を作成した結果、大分商店から購入した備品 ¥748,650と消耗品 ¥28,350の代金支払いのために作成した小切手が未渡しであり、これが不一致の原因と判明したので修正した。
- (2) 岩手商店に原価 ¥78,000の商品を原価の4割増しで売り渡し、代金は翌月から ¥5,460の均等分割払いとした。なお、割賦販売は回収基準により収益を計上し、対照勘定を用いて処理している。
- (3) 和歌山商店に対する買掛金の支払いにあたり、さきに得意先三重商店から受け取っていた約束手形を裏書譲渡した。なお、保証債務の時価は手形額面金額の2%である ¥4,000と評価した。
- (4) 天草支店と平戸支店を設けている長崎商店（個人企業）の本店は、決算にあたり、天草支店から当期純利益 ¥1,800,000 平戸支店から当期純損失 ¥750,000を計上したとの報告を受けた。また、本支店合併の純損益を資本金勘定に振り替えた。なお、本店の収益 ¥16,820,000と費用 ¥14,370,000は、すべて損益勘定に振り替えられており、本支店間および支店相互間の未達取引はない。
- (5) 大阪商店は、店舗の修繕をおこない、その費用 ¥2,500,000の小切手を振り出して支払った。なお、前期末に修繕引当金 ¥2,000,000が設定されている。また、これと同時に耐用年数を延長する補強工事をおこない、この代金 ¥5,000,000は月末に支払うことにした。
- (6) 青森商店は、下記の条件で発行した社債のうち額面 ¥10,000,000を発行後8年目の初頭に買入償還し、小切手を振り出して支払った。ただし、社債は償却原価法（定額法）によって評価している。なお、社債償還益は ¥10,000であった。

発行条件			
額面総額	¥20,000,000	払込金額	@ ¥97
利率	年2%	償還期限	10年
		利払い	年2回（3月末・9月末）
- (7) 奈良物産株式会社（決算年1回 3月31日）は、売買目的で平成22年7月27日に買い入れた社債を、平成23年2月23日に @ ¥99で売却し、代金は利払日の翌日から売却日までの端数利息とともに小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。ただし、この社債は額面 ¥3,000,000を @ ¥97で買い入れ、手数料 ¥50,000および端数利息とともに代金を支払っており、利率は年4%、利払日は9月と3月の末日である。
- (8) 岐阜商事株式会社（決算年1回 3月31日）は、4月末日に本年2月からの3か月分の広告料を現金で支払った。なお、この広告料について、期首に ¥170,000を広告料勘定に再振替しており、当期の4月分から1割安くなっている。
- (9) 岡山商店は、次の売掛金について、現金で回収した。

(ア) 前期に販売し、当期に貸し倒れとして処理した売掛金	¥50,000
（貸し倒れ時の貸倒引当金の残高は ¥40,000）	
(イ) 当期に販売し、当期に貸し倒れとして処理した売掛金	¥80,000
（貸し倒れ時の貸倒引当金の残高は ¥100,000）	
- (10) 香川商事株式会社は、実質的に支配している西南商事株式会社の財政状態が著しく悪化したので、保有する同社の株式200株（1株の帳簿価額 ¥80,000）を実質価額によって評価替えした。なお、西南商事株式会社の発行済株式数は300株（時価の把握がきわめて困難な株式）であり、負債総額は ¥11,385,000 自己資本比率は36.75%であった。

(11) 滋賀商事株式会社(決算年1回 3月31日)は、平成23年5月28日に備品を¥1,500,000で買い入れ、この代金はこれまで使用してきた備品を¥600,000で引き取らせ、新しい備品の代金との差額は月末に支払うこととした。ただし、旧備品は平成20年4月5日に買い入れたもので、定率法(償却率25%)によって減価償却費を計算し、間接法で記帳してきた。なお、この備品の買い換えにより売却損¥46,875が計上された。また、当期の減価償却費を月割りで計上すること。

(12) 試用販売のため、群馬商店にA品・B品・C品を1個ずつ試送していたが、本日、C品を買い取るとの意思表示があり、A品とB品は返送された。ただし、B品の売価はA品の売価の1.4倍であり、C品の売価はA品の売価より¥42,000安い。なお、商品を試送したさい、次の仕訳によって備忘記録がしてある。
 (借方) 試用品 1,386,000 (貸方) 試用仮売上 1,386,000

(13) 徳島商事株式会社(決算年1回 3月31日)は、7月7日に売買目的で保有しているA株式1,000株を1株あたり¥2,900 B株式400株を1株あたり¥2,600で売却し、代金を小切手で受け取った。なお、これまでのA株式とB株式における売買取引は次のとおりであり、払出単価の計算は移動平均法によっている。
 4月4日 A株式購入 400株 @ ¥3,000 5月30日 B株式売却 200株 @ ¥2,650
 4月18日 B株式購入 500 " " ¥2,400 6月20日 B株式購入 500 " " ¥2,520
 5月16日 A株式購入 100 " " ¥2,800 6月30日 A株式購入 500 " " ¥2,700

(14) 定額資金前渡法を採用している秋田商事株式会社の会計係は、庶務係から4月分の支払いと月末の残金について次のとおり報告を受けたので、ただちに補充額を小切手を振り出して渡した。なお、当月中において、庶務係から残金がなくなったとの連絡を受けたので、庶務係に¥10,000を補充し、小口現金勘定を臨時に増額させていた。
 4月の支払分 交通費 ¥43,800 消耗品費 ¥14,700 雑費 ¥8,500
 残金 ¥3,000

(15) 熊本商店に商品700個を原価の20%増しで掛け売りしていたが、本日、20個については返品を受け、42個については、1個につき原価の1割の値引きをおこなった。ただし、分記法で記帳した場合の返品・値引後の商品売買益は¥65,900となる。

(16) 兵庫商事株式会社は、次の財政状態にある北東商会を取得し、取得代金は小切手を振り出して支払った。ただし、同商会の年平均利益額は¥320,000 同種企業の平均利益率を8%として収益還元価値を求め、その金額を取得代金とした。なお、北東商会の貸借対照表に示されている資産および負債の時価は帳簿価額に等しいものとする。また、北東商会の負債比率は80%であり、固定比率は75%であった。
 売掛金 ¥3,150,000 建物 ¥ 備品 ¥1,000,000
 買掛金 ¥450,000 長期借入金 ¥ 資本金 ¥3,000,000

(17) 北海道商事株式会社(決算年1回 3月31日)の社債に関する取引は、次のとおりである。
 ①平成22年6月30日 株主総会の決議により、利益剰余金のうち前期に計上した減債用定期預金の利息分¥40,320を減債積立金に積み立てた。
 ②平成23年4月1日 額面¥2,000,000の社債が、満期になったので、減債用定期預金で償還した。なお、減債積立金¥2,000,000を同時に取り崩した。

(18) 山口商事株式会社(決算年1回 3月31日)の取引は、次のとおりである。ただし、以下の取引のほかに株主資本の変動はない。
 ①平成23年4月1日 新株200株を1株につき¥64,000で発行し、全額の引き受け・払い込みを受け、払込金は当座預金とした。ただし、1株につき¥14,000は資本金に計上しないことにした。なお、資本金、資本準備金の期首残高は、それぞれ¥20,000,000 ¥3,700,000であった。
 ②平成23年6月30日 株主総会において、繰越利益剰余金を次のとおり配当および処分することを決議した。ただし、利益準備金、別途積立金、繰越利益剰余金の期首残高は、それぞれ¥800,000 ¥600,000 ¥3,150,000であった。
 利益準備金 会社法に規定する額 配当金 ¥2,500,000
 別途積立金 ¥300,000

2 (18点)

東京商店の3月5日における下記の略式の伝票・売掛金明細表・買掛金明細表によって、仕訳集計表を作成しなさい。ただし、次の取引について略式の伝票に記入したうえで集計すること。

なお、i 仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法によっている。

ii 1枚の伝票には、貸借それぞれ1科目だけ記入することになっている。

iii 取引・各伝票・売掛金明細表・買掛金明細表の()は各自推定すること。

取 引

3月5日 中央商店から商品¥462,000を仕入れ、代金のうち¥162,000は現金で支払い、残額は掛けとした。

” 品川商店に商品¥630,000を売り渡し、代金のうち()は同店振り出しの小切手で受け取り、残額は掛けとした。

” 江東商店から商品¥()を仕入れ、代金のうち¥300,000は約束手形を振り出して支払い、残額は掛けとした。

入金伝票		出金伝票		売上传票	
受取手数料	42,000	支払利息	2,000	渋谷商店	546,000
売掛金(渋谷商店)	()	借入金	200,000	葛飾商店(値引)	21,000
当座預金	120,000	買掛金(江東商店)	250,000	葛飾商店	378,000
売掛金(北商店)	250,000	当座預金	190,000	国立商店	147,000
雑益	8,000	営業費	23,000	北商店	()
売掛金(葛飾商店)	240,000	買掛金(練馬商店)	50,000	渋谷商店(戻り)	42,000
() ()		() ()		() ()	
() ()		() ()		() ()	

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)		仕入伝票	
当座預金	300,000	受取手形	300,000	港商店	273,000
買掛金(足立商店)	()	支払手形	()	足立商店	315,000
営業費	80,000	当座預金	80,000	江東商店(戻し)	63,000
受取手形	400,000	売掛金(渋谷商店)	400,000	練馬商店	()
買掛金(江東商店)	160,000	当座預金	160,000	足立商店(値引)	84,000
当座預金	80,000	売掛金(国立商店)	80,000	() ()	
買掛金(港商店)	150,000	当座預金	150,000	() ()	
当座預金	100,000	受取手数料	100,000		
() ()		() ()			
() ()		() ()			

売掛金明細表		
	3月4日	3月5日
葛飾商店	¥ 197,000	¥ ()
渋谷商店	549,000	173,000
国立商店	48,000	()
北商店	—	254,000
品川商店	194,000	574,000
	<u>¥ 988,000</u>	<u>¥ ()</u>

買掛金明細表		
	3月4日	3月5日
足立商店	¥ ()	¥ ()
江東商店	346,000	98,000
練馬商店	250,000	326,000
港商店	—	()
中央商店	120,000	()
	<u>¥ 1,014,000</u>	<u>¥ 1,181,000</u>

3 (42点)

神奈川商店（個人企業）では、普通仕訳帳のほかに、特殊仕訳帳として当座預金出納帳・仕入帳・売上帳を用いている。よって、普通仕訳帳の前期繰越高を記入のうえ、次の1月中の取引を仕訳帳に記入し、総勘定元帳および売掛金元帳・買掛金元帳に転記して、残高試算表を作成しなさい。

- ただし、
- i すでに記入してある取引も転記すること。
 - ii 特殊仕訳帳の摘要欄には、転記に必要な商店名のみ記入すればよい。
 - iii 普通仕訳帳の小書きは、売掛金元帳・買掛金元帳に転記する必要があるときに商店名を記入すればよい。
 - iv 総勘定元帳および売掛金元帳・買掛金元帳への転記は、日付と金額を示せばよい。
 - v 特殊仕訳帳は月末に締め切り、合計転記は特殊仕訳帳から直接おこなうこと。

取 引

- 1月 5日 福井商店から商品¥451,500を仕入れ、代金のうち¥280,000は小切手を振り出して支払い、残額は掛けとした。
- 6日 福井商店から仕入れた上記商品のうち¥29,400を品違いのため返品した。
- 7日 従業員から預かっていた所得税額¥38,250を小切手を振り出して納付した。
- 11日 山形商店に商品¥714,000を売り渡し、代金のうち¥100,000は当店発行の商品券で受け取り¥340,000については愛知商店振り出しの約束手形を裏書きのうえ譲り受け、残額は山形商店振り出しの小切手で受け取り、小切手はただちに当座預金に預け入れた。
- 12日 富山商店から商品¥367,500を仕入れ、代金のうち¥300,000は石川商店振り出しの約束手形を裏書譲渡し、残額は掛けとした。なお、引取費¥3,150を現金で支払った。
- 14日 営業用のコピー機¥719,670を購入し、代金のうち¥68,790は小切手を振り出して支払い、残額は翌月より毎月末に¥81,360ずつ支払うことにした。なお、この備品の設置費用¥21,000は現金で支払った。（取引の全部をいったん普通仕訳帳に記入する）
- 17日 新潟商店振り出し、当店あての約束手形¥541,890が期日になり、当座預金口座に振り込まれたむねの通知を受けた。
- 18日 富山商店に対する買掛金¥250,000を小切手を振り出して支払った。また、福井商店に対する買掛金支払いのため、得意先山形商店あての為替手形¥200,000を振り出し、同店の引き受けを得て、福井商店に渡した。
- 19日 石川商店に商品¥399,000を売り渡し、代金のうち¥150,000については同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れ、残額は掛けとした。なお、先方負担の発送費用¥42,000は小切手を振り出して支払った。
- 20日 石川商店に売り渡した商品のうち品傷みがあったので¥15,000の値引きを承諾した。
- 21日 11日に山形商店から受け取った約束手形を取引銀行で割り引き、割引料¥1,200を差し引かれた手取金は当座預金とした。（当座預金出納帳だけで処理する）
- 24日 石川商店に対する売掛金¥150,000を同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。
- 25日 本月分の給料¥430,000から所得税額¥42,140を差し引き、残額は小切手を振り出して支払った。（当座預金出納帳だけで処理する）
- 26日 本月分の電話料金¥55,650が、当座預金口座から引き落とされた。
- 28日 福島商店に商品売買の仲介をして、手数料¥35,000を同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。

第27回（平成23年度）第1部〔答案用紙〕

番号		氏名	
----	--	----	--

1	
得点	

2	
得点	

3	
得点	

1部	
総得点	

1 審	
-----	--

2 審	
-----	--

3 審	
-----	--

	借 方	貸 方
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		
(7)		

	借 方	貸 方
(8)		
(9)		
(10)		
(11)		
(12)		
(13)		
(14)		

番号		氏名	
----	--	----	--

		借	方	貸	方
(15)					
(16)					
(17)	①				
	②				
(18)	①				
	②				

1	
得点	

仕 訳 集 計 表

平成23年3月5日

借	方	円	勘 定 科 目	円	貸	方
			現 金			
			当 座 預 金			
			受 取 手 形			
			売 掛 金			
			支 払 手 形			
			買 掛 金			
			借 入 金			
			売 上			
			受 取 手 数 料			
			雑 益			
			仕 入			
			営 業 費			
			支 払 利 息			

2	
得点	

当座預金出納帳

平成23年	勘定科目	摘要	円	売掛金	諸口	平成23年	勘定科目	摘要	円	買掛金	諸口

仕入帳

売上帳

平成23年	勘定科目	摘要	円	買掛金	諸口
1 4	支払手形				65,000

平成23年	勘定科目	摘要	円	売掛金	諸口

普通仕訳帳

平成23年	摘要	円	借方	貸方
1 1	前期繰越高	✓		

総勘定元帳

<p style="text-align: center;">現金 1</p> <hr/> <p>1/1 前期繰越 173,360</p>	<p style="text-align: center;">当座預金 2</p> <hr/> <p>1/1 前期繰越 1,016,640</p>	<p style="text-align: center;">受取手形 3</p> <hr/> <p>1/1 前期繰越 980,000</p>
<p style="text-align: center;">売掛金 4</p> <hr/> <p>1/1 前期繰越 800,000</p>	<p style="text-align: center;">繰越商品 5</p> <hr/> <p>1/1 前期繰越 1,590,000</p>	<p style="text-align: center;">備品 6</p> <hr/> <p>1/1 前期繰越 950,000</p>
<p style="text-align: center;">支払手形 7</p> <hr/> <p>1/1 前期繰越 550,000</p>	<p style="text-align: center;">買掛金 8</p> <hr/> <p>1/1 前期繰越 911,750</p>	<p style="text-align: center;">未払金 9</p> <hr/> <p>1/1 前期繰越 130,000</p>
<p style="text-align: center;">商品券 10</p> <hr/> <p>1/1 前期繰越 380,000</p>	<p style="text-align: center;">所得税預り金 11</p> <hr/> <p>1/1 前期繰越 38,250</p>	<p style="text-align: center;">資本金 12</p> <hr/> <p>1/1 前期繰越 3,500,000</p>
<p style="text-align: center;">売上 13</p> <hr/>	<p style="text-align: center;">受取手数料 14</p> <hr/>	<p style="text-align: center;">仕入 15</p> <hr/>
<p style="text-align: center;">給料 16</p> <hr/>	<p style="text-align: center;">通信費 17</p> <hr/>	<p style="text-align: center;">手形売却損 18</p> <hr/>

売掛金元帳

	山形商店 1	
1/1 前月繰越		260,000
	石川商店 2	
1/1 前月繰越		540,000

買掛金元帳

	福井商店 1	
		1/1 前月繰越 520,000
	富山商店 2	
		1/1 前月繰越 391,750

残高試算表

平成23年1月31日

借方	元 勘定科目	貸方
-----	1 現金	-----
-----	2 当座預金	-----
-----	3 受取手形	-----
-----	4 売掛金	-----
-----	5 繰越商品	-----
-----	6 備品	-----
-----	7 支払手形	-----
-----	8 買掛金	-----
-----	9 未払金	-----
-----	10 商品券	-----
-----	11 所得税預り金	-----
-----	12 資本金	-----
-----	13 売上	-----
-----	14 受取手数料	-----
-----	15 仕入	-----
-----	16 給料	-----
-----	17 通信費	-----
-----	18 手形売却損	-----
-----		-----
-----		-----

3

得点

第27回（平成23年度）第1部〔審査基準〕

1	2点×20=40点
得点	

2	2点×9=18点
得点	

3	3点×14=42点
得点	

1部	100点
総得点	

	借 方	貸 方
(1)	当 座 預 金 777,000	未 払 金 777,000
(2)	割 賦 売 掛 金 109,200	割 賦 仮 売 上 109,200
(3)	買 掛 金 200,000 保 証 債 務 費 用 4,000	受 取 手 形 200,000 保 証 債 務 4,000
(4)	天 草 支 店 1,800,000 損 益 750,000 損 益 3,500,000	損 益 1,800,000 平 戸 支 店 750,000 資 本 金 3,500,000
(5)	修 繕 引 当 金 2,000,000 修 繕 費 500,000 建 物 5,000,000	当 座 預 金 2,500,000 未 払 金 5,000,000
(6)	社 債 9,910,000	当 座 預 金 9,900,000 社 債 償 還 益 10,000
(7)	当 座 預 金 3,018,000	有 価 証 券 2,960,000 有 価 証 券 売 却 益 10,000 有 価 証 券 利 息 48,000

	借 方	貸 方
(8)	廣 告 料 246,500	現 金 246,500
(9)	現 金 130,000	貸 倒 引 当 金 40,000 貸 倒 償 却 90,000
(10)	子 会 社 株 式 評 価 損 11,590,000	子 会 社 株 式 11,590,000
(11)	備 品 1,500,000 備 品 減 価 償 却 累 計 額 925,000 減 価 償 却 費 28,125 固 定 資 産 売 却 損 46,875	備 品 1,600,000 未 払 金 900,000
(12)	試 用 仮 売 上 1,386,000 売 掛 金 378,000	試 用 品 1,386,000 売 上 378,000
(13)	現 金 3,940,000	有 価 証 券 3,820,000 有 価 証 券 売 却 益 120,000
(14)	交 通 費 43,800 消 耗 品 費 14,700 雜 費 8,500 小 口 現 金 57,000	小 口 現 金 67,000 当 座 預 金 57,000

		借 方	貸 方
(15)		売 上 14,100	売 掛 金 14,100
(16)		売 掛 金 3,150,000 建 物 1,250,000 備 品 1,000,000 の れ ん 1,000,000	買 掛 金 450,000 長 期 借 入 金 1,950,000 当 座 預 金 4,000,000
(17)	①	繰越利益剰余金 40,320	減債積立金 40,320
	②	社 債 2,000,000 減債積立金 2,000,000	減債用定期預金 2,000,000 繰越利益剰余金 2,000,000
(18)	①	当座預金 12,800,000	資 本 金 10,000,000 資 本 準 備 金 2,800,000
	②	繰越利益剰余金 3,000,000	利 益 準 備 金 200,000 未 払 配 当 金 2,500,000 別 途 積 立 金 300,000

1	2点×20=40点
得点	

2

仕 訳 集 計 表

平成23年3月5日

借 方	平	勘 定 科 目	平	貸 方
1,390,000		現 金		877,000
670,000		当 座 預 金		510,000
400,000		受 取 手 形		300,000
2,205,000		売 掛 金		1,763,000
		支 払 手 形		615,000
1,534,000		買 掛 金		1,701,000
200,000		借 入 金		
63,000		売 上		2,205,000
		受 取 手 数 料		142,000
		雑 益		8,000
1,701,000		仕 入		147,000
103,000		営 業 費		
2,000		支 払 利 息		
8,268,000				8,268,000

2

得点

2点×9=18点

当座預金出納帳

平 23	成 年	勘定科目	摘 要	元 丁	売掛金	諸 口	平 23	成 年	勘定科目	摘 要	元 丁	買掛金	諸 口
1	11	売 上		✓		274,000	1	5	仕 入		✓		280,000
	17	受取手形		3		541,890		7	所得税預り金		11		38,250
	19	売 上		✓		150,000		14	備 品		✓		68,790
	21	受取手形		3		340,000		18	買掛金 富山商店	買		250,000	
	24	売掛金	石川商店	売	150,000			19	売掛金 石川商店	4/売			42,000
	25	所得税預り金		11		42,140		21	手形売却損		18		1,200
	28	受取手数料		14		35,000		25	給 料		16		430,000
								26	通 信 費		17		55,650
					150,000	1,383,030						250,000	915,890
	31			4		150,000		31			8		250,000
	〃			2		1,533,030		〃			2		1,165,890
			前月繰越	✓		1,016,640				次月繰越	✓		1,383,780
						2,549,670							2,549,670

仕 入 帳 1

平 23	成 年	勘定科目	摘 要	元 丁	買掛金	諸 口
1	4	支払手形		7		65,000
	5	当座預金		✓		280,000
		買掛金	福井商店	買	171,500	
	6	買掛金	福井商店	買	29,400	
	12	受取手形		3		300,000
		買掛金	富山商店	買	67,500	
		現 金		1		3,150
					239,000	648,150
	31			8		239,000
	〃			15		887,150
	〃			8/15		29,400
						857,750

売 上 帳 1

平 23	成 年	勘定科目	摘 要	元 丁	売掛金	諸 口
1	11	商品券		10		100,000
		受取手形		3		340,000
		当座預金		✓		274,000
	19	当座預金		✓		150,000
		売掛金	石川商店	売	249,000	
	20	売掛金	石川商店	売	15,000	
					249,000	864,000
	31			4		249,000
	〃			13		1,113,000
	〃			13/4		15,000
						1,098,000

(注) 純売上高の1,098,000は、上部に単線、下部に複線がなければならない。

普 通 仕 訳 帳

平 23	成 年	摘 要	元 丁	借 方	貸 方
1	1	前期繰越高	✓	5,510,000	5,510,000
	14	(備 品)	諸 口	6	740,670
			(当座預金)	✓	68,790
			(未 払 金)	9	650,880
			(現 金)	1	21,000
	18	(買 掛 金)	8/買	200,000	
			(売 掛 金)	4/売	200,000
		福井商店	山形商店		

総勘定元帳

現 金 1	
1/1 前期繰越	173,360
1/12	3,150
14	21,000

当座預金 2	
1/1 前期繰越	1,016,640
1/31	1,165,890
31	1,533,030

受取手形 3	
1/1 前期繰越	980,000
1/12	300,000
11	340,000
17	541,890
21	340,000

売掛金 4	
1/1 前期繰越	800,000
1/18	200,000
19	42,000
31	249,000
31	15,000

繰越商品 5	
1/1 前期繰越	1,590,000

備品 6	
1/1 前期繰越	950,000
14	740,670

支払手形 7	
1/1 前期繰越	550,000
4	65,000

買掛金 8	
1/18	200,000
1/1 前期繰越	911,750
31	250,000
31	239,000
31	29,400

未払金 9	
1/1 前期繰越	130,000
14	650,880

商品券 10	
1/11	100,000
1/1 前期繰越	380,000

所得税預り金 11	
1/7	38,250
1/1 前期繰越	38,250
25	42,140

資本金 12	
1/1 前期繰越	3,500,000

売上 13	
1/31	15,000
1/31	1,113,000

受取手数料 14	
1/28	35,000

仕入 15	
1/31	887,150
1/31	29,400

給料 16	
1/25	430,000

通信費 17	
1/26	55,650

手形売却損 18	
1/21	1,200

売掛金元帳

山形商店 1	
1/1 前期繰越	260,000
1/18	200,000
石川商店 2	
1/1 前期繰越	540,000
1/20	15,000
19	249,000
24	150,000
31	42,000

買掛金元帳

福井商店 1	
1/6	29,400
1/1 前期繰越	520,000
18	200,000
5	171,500
富山商店 2	
1/18	250,000
1/1 前期繰越	391,750
12	67,500

残高試算表

平成23年1月31日

借方	元丁	勘定科目	貸方
149,210	1	現金	
1,383,780	2	当座預金	
138,110	3	受取手形	
726,000	4	売掛金	
1,590,000	5	繰越商品	
1,690,670	6	備品	
	7	支払手形	615,000
	8	買掛金	671,350
	9	未払金	780,880
	10	商品券	280,000
	11	所得税預り金	42,140
	12	資本金	3,500,000
	13	売上	1,098,000
	14	受取手数料	35,000
857,750	15	仕入	
430,000	16	給料	
55,650	17	通信費	
1,200	18	手形売却損	
7,022,370			7,022,370

3

得点

3点×14=42点